

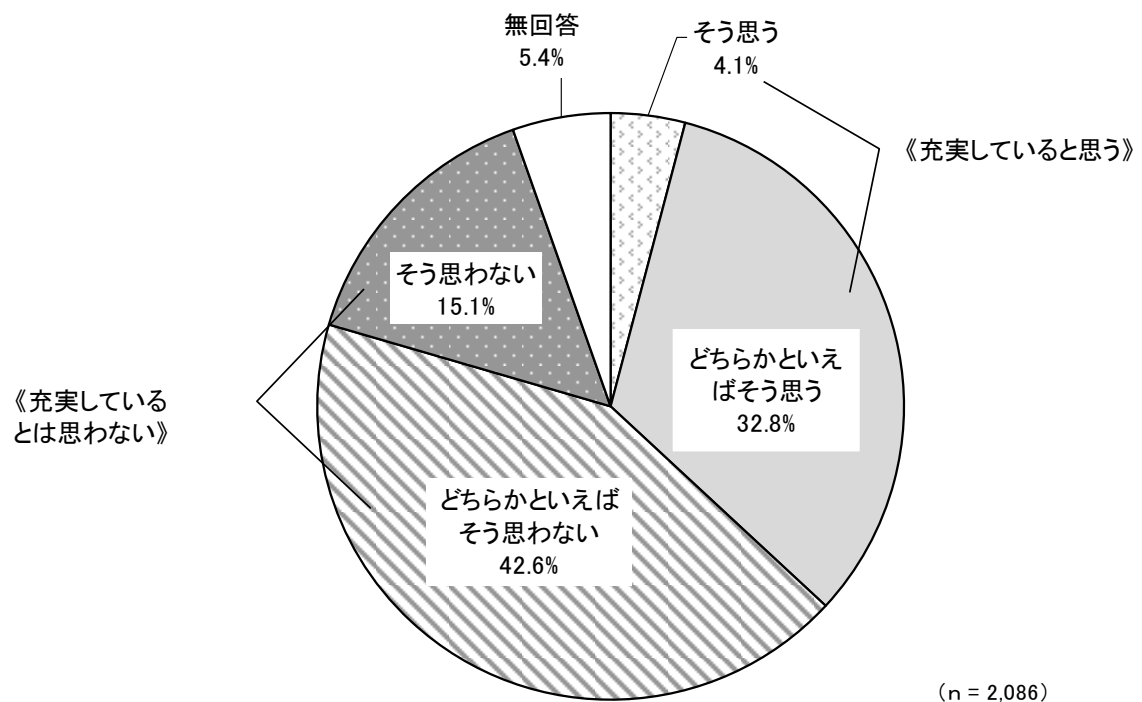
15. 多文化共生

(1) 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

◎ 《充実しているとは思わない》が6割近く

問40 あなたは、「外国人と日本人が共に暮らす」という視点からみて、区の多文化共生社会の実現に向けた施策が充実していると思いますか。(〇は1つ)

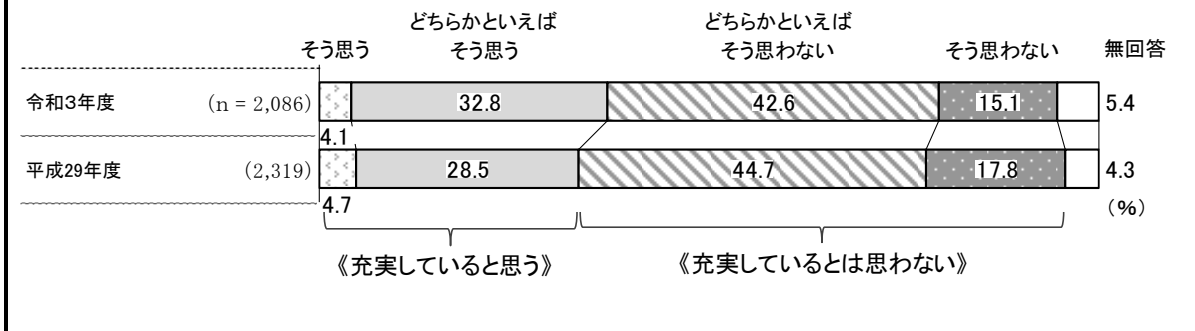
図 15-1-1



<調査結果>

区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度を聞いたところ、「どちらかといえばそう思わない」(42.6%)が4割を超えて最も高く、「そう思わない」(15.1%)と合わせた《充実しているとは思わない》(57.7%)が6割近くとなっている。「どちらかといえばそう思う」(32.8%)と「そう思う」(4.1%)を合わせた《充実していると思う》(36.9%)は4割近くにとどまっている。(図 15-1-1)

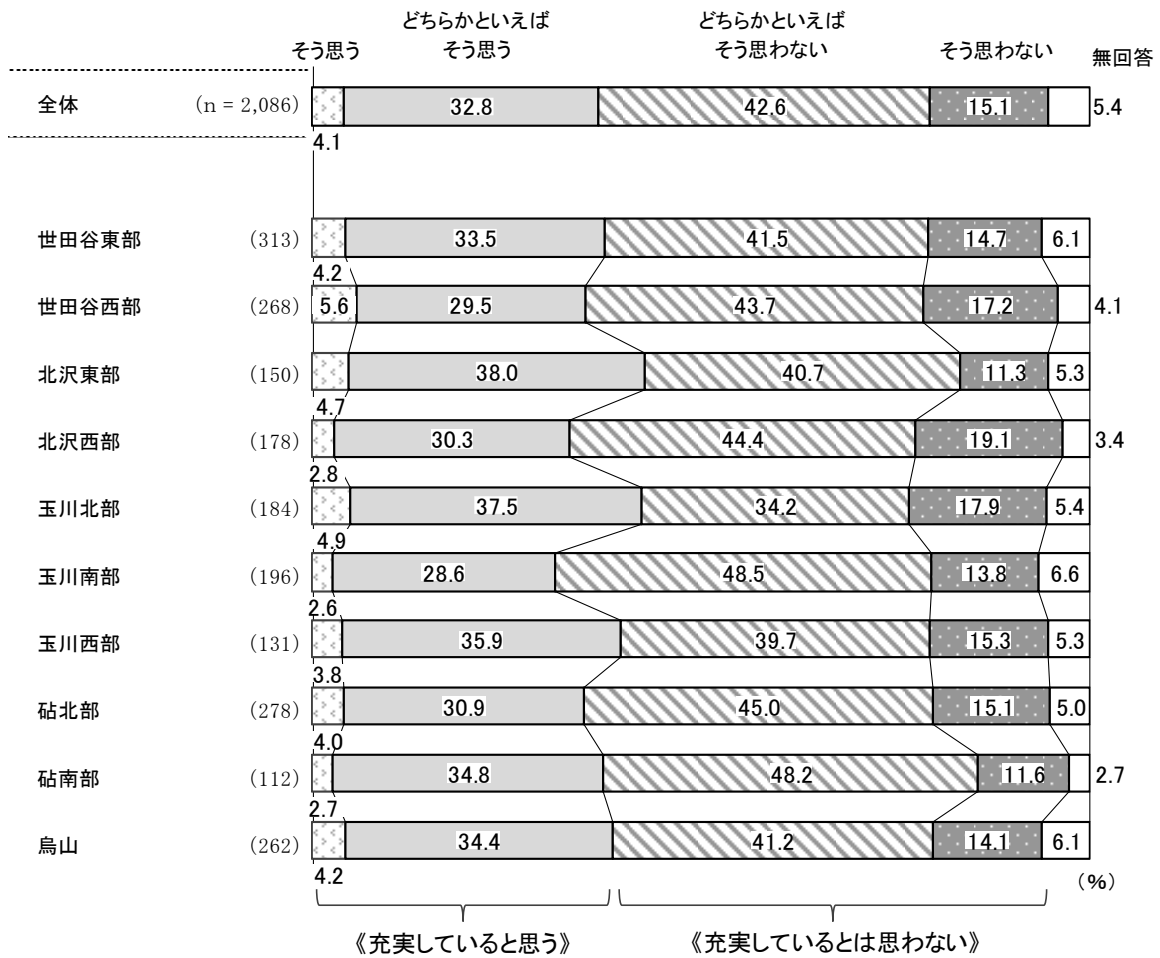
図 15-1-2 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（時系列）



<調査結果>

平成 29 年度からの時系列の変化をみると、《充実していると思う》は平成 29 年度 (33.2%) から令和 3 年度 (36.9%) でわずかに増加している。(図 15-1-2)

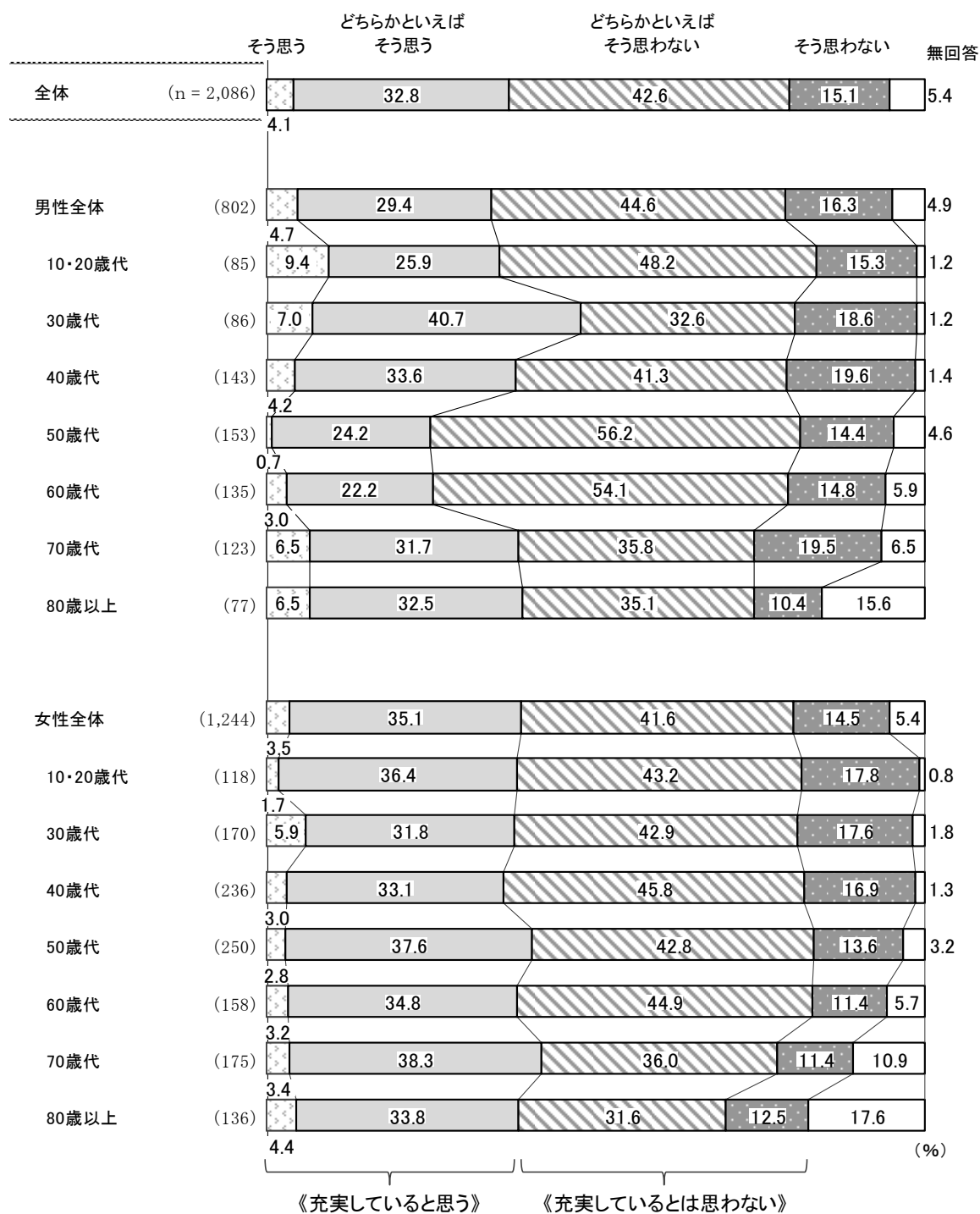
図 15-1-3 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（地域別）



〈調査結果〉

地域別にみると、《充実していると思う》は北沢東部、玉川北部で4割を超えている。《充実しているとは思わない》は北沢西部、玉川南部で6割を超えている。（図 15-1-3）

図 15-1-4 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（性・年齢別）



〈調査結果〉

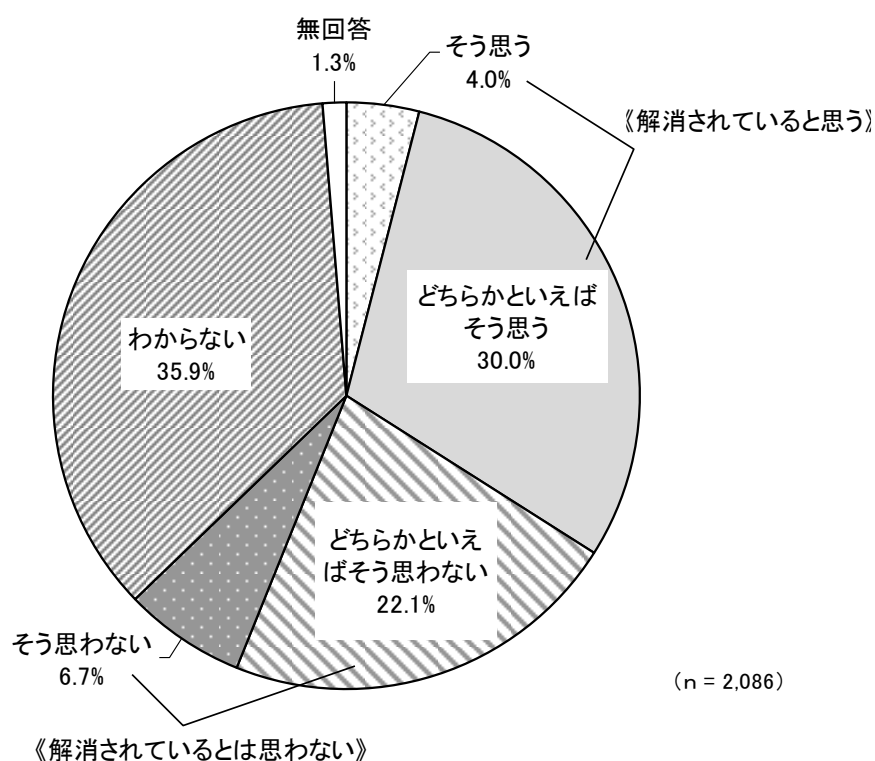
性・年齢別にみると、《充実していると思う》は男性の30歳代で5割近く、女性の70歳代で4割を超えている。《充実しているとは思わない》は男性の50歳代でほぼ7割、女性の10・20歳代、40歳代で6割を超えている。（図 15-1-4）

(2) 外国人に対する偏見や差別の解消

◎ 《解消されていると思う》が3割半ば、《解消されているとは思わない》が3割近く

問41 区では、多様な文化を理解し合える交流イベント等を開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人に対する偏見や差別が解消されていると思いますか。(〇は1つ)

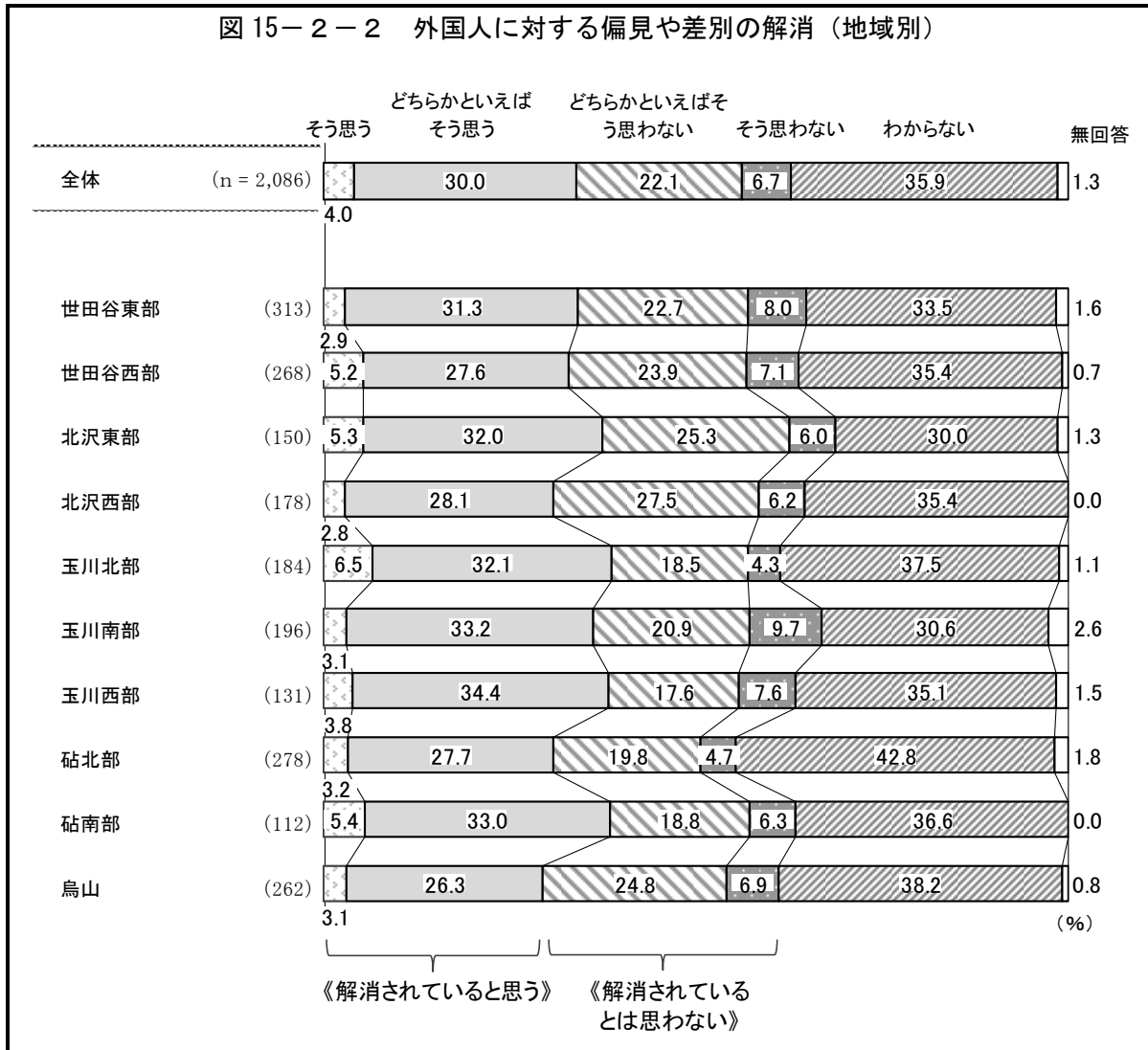
図 15-2-1



<調査結果>

区内において外国人に対する偏見や差別が解消されているかについて聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」(30.0%)が3割と最も高く、「そう思う」(4.0%)と合わせた《解消されていると思う》(34.0%)が3割半ばとなっている(「わからない」は除く)。「どちらかといえばそう思わない」(22.1%)と「そう思わない」(6.7%)を合わせた《解消されているとは思わない》(28.8%)は3割近くと、《解消されていると思う》と《解消されているとは思わない》の差は小さくなっている。(図 15-2-1)

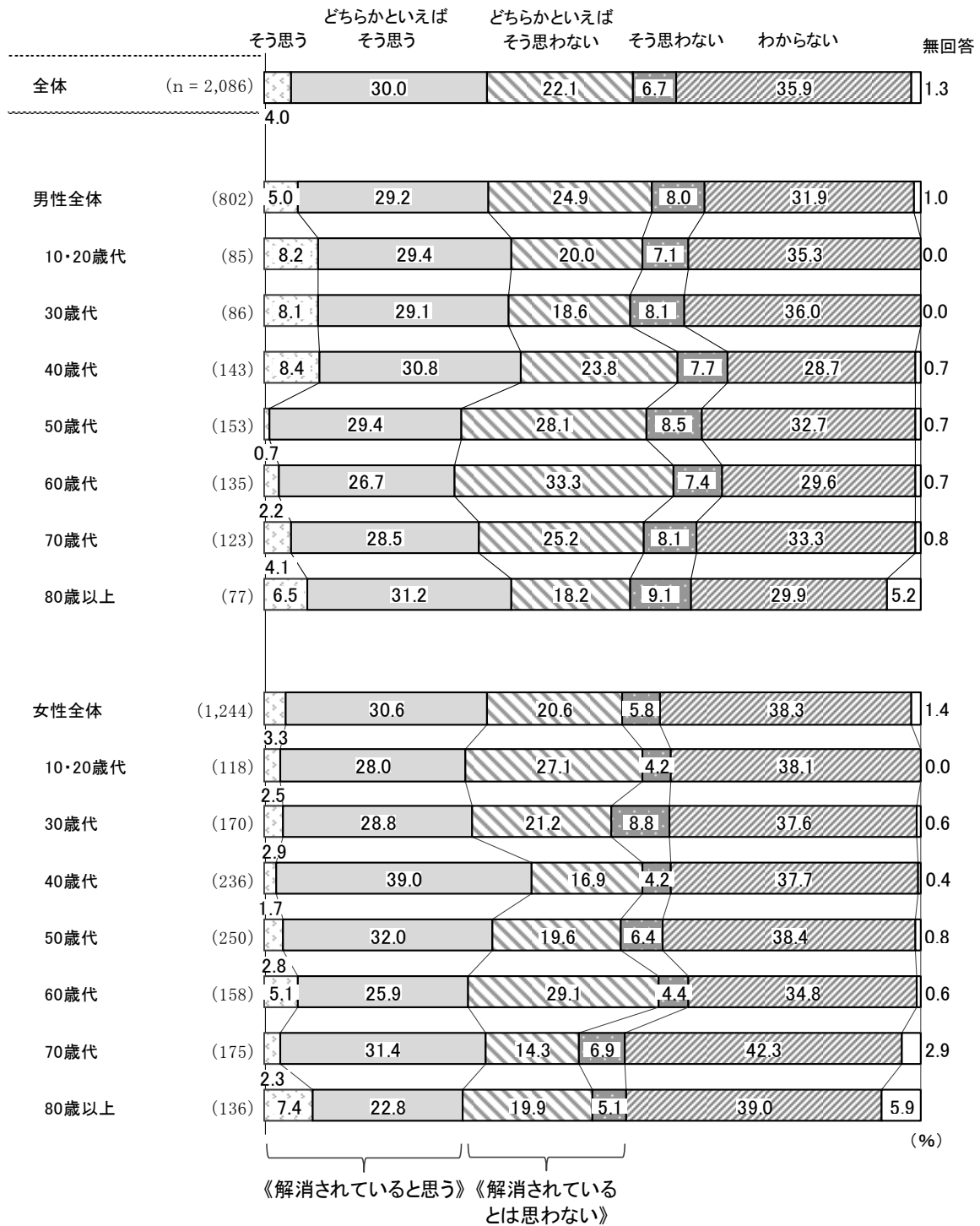
図 15-2-2 外国人に対する偏見や差別の解消（地域別）



〈調査結果〉

地域別にみると、《解消されていると思う》は北沢東部、玉川北部、玉川西部、砧南部で4割近くとなっている。《解消されていないと思う》は世田谷西部、北沢東部、北沢西部、烏山で3割を超えている。（図 15-2-2）

図 15-2-3 外国人に対する偏見や差別の解消（性・年齢別）



<調査結果>

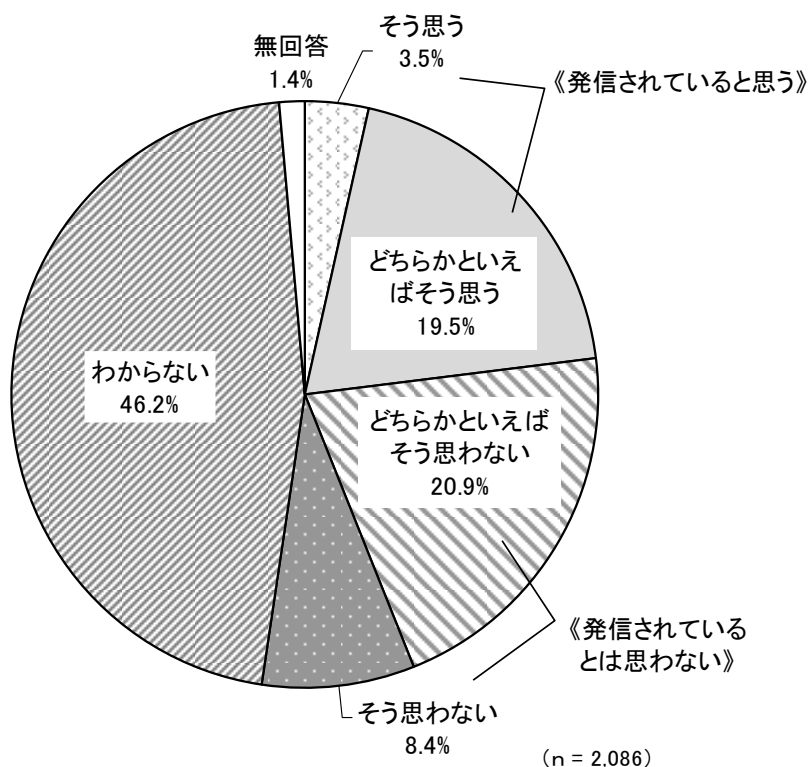
性・年齢別にみると、《解消されていると思う》は女性の40歳代でほぼ4割、男性の40歳代でほぼ4割となっている。《解消されているとは思わない》は男性の60歳代でほぼ4割、女性の10・20歳代、60歳代で3割を超えている。（図 15-2-3）

(3) 外国人へのわかりやすい情報発信

◎ 《発信されていると思う》が2割を超え、《発信されているとは思わない》がほぼ3割

問42 区の情報が多言語や、「やさしい日本語」などにより区内の外国人にもわかりやすく発信されていると思いますか。(〇は1つ)

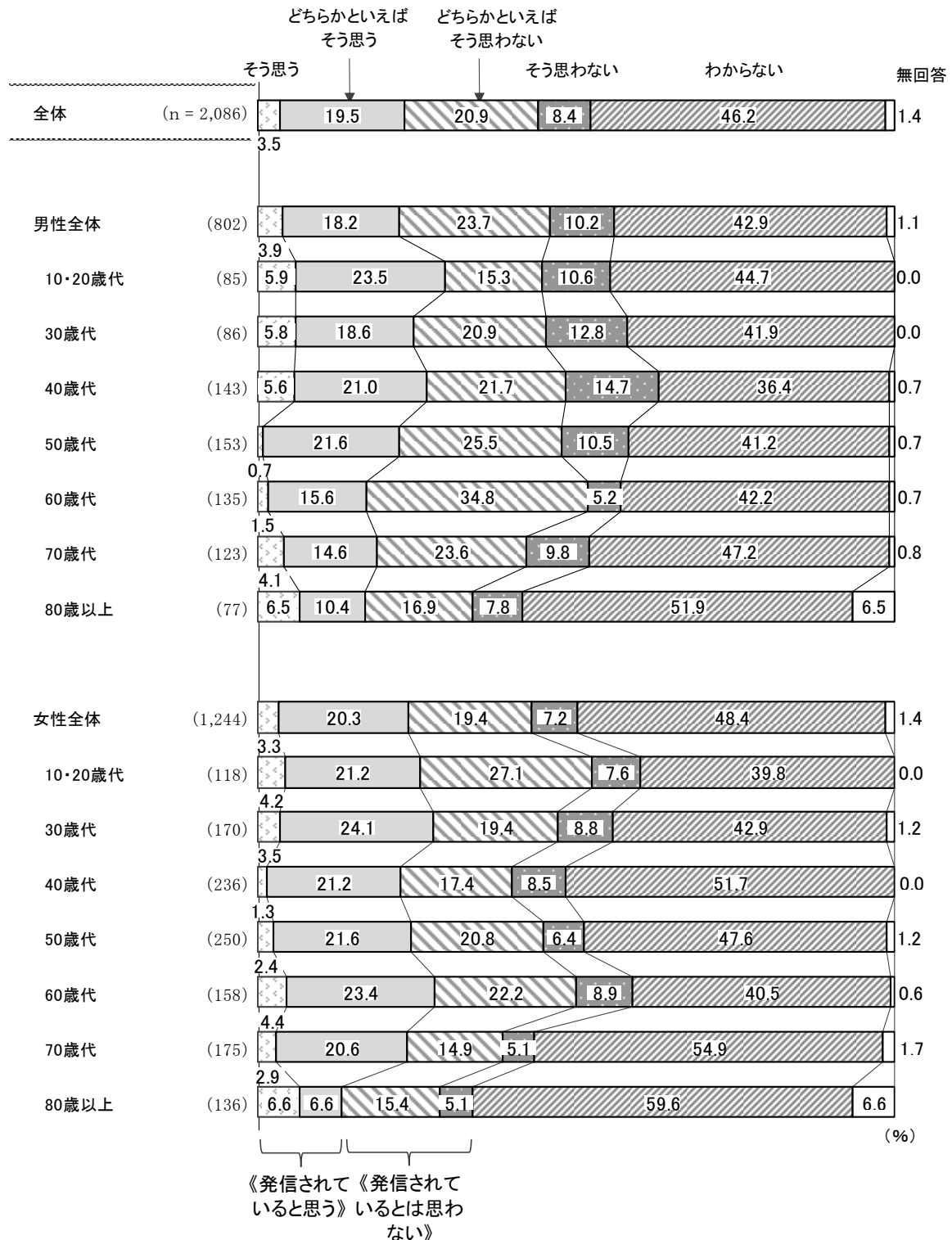
図 15-3-1



<調査結果>

外国人へのわかりやすい情報発信がされているか聞いたところ、「どちらかといえばそう思わない」(20.9%)がほぼ2割と最も高く、「そう思わない」(8.4%)と合わせた《発信されているとは思わない》(29.3%)がほぼ3割となっている(「わからない」は除く)。「そう思う」(3.5%)と「どちらかといえばそう思う」(19.5%)を合わせた《発信されていると思う》(23.0%)は2割を越えるにとどまっている。(図 15-3-1)

図 15-3-2 外国人へのわかりやすい情報発信（性・年齢別）



〈調査結果〉

性・年齢別にみると、《発信されていると思う》は男性の10・20歳代でほぼ3割、女性の30歳代、60歳代で3割近くとなっている。《発信されているとは思わない》は男性の60歳代で4割、女性の10・20歳代で3割半ばとなっている。(図15-3-2)